

# 応用問題 3

今まで学習してきたことを組み合わせてプログラムを完成させる。



変数が非常に重要となってくるので、最初の「(変数)を0にする」を絶対に忘れないようにする。

質問の答えが正解ならば「正解！」と言った後に変数に1ずつ数値を加え、不正解だった場合には数値を加えないようにする。

最後は正解数に応じてスプライトがしゃべる言葉を変える必要があるため、条件分岐第4問の考え方を使用してそれぞれの正解数でしゃべる言葉を設定していく。

[前のページへ](#)

[ホームへ](#)

[次のページへ](#)

[解説を見る](#)